

国際化

伝統ある「国際性」を卓越したレベルに進化させる

【ビジョン】

関西学院は、創立時に米国人宣教師らが教育に携わり、長らく英語による授業がカリキュラムの大半を占めていたことから「英語の関学」と称されるなど、国際性を大きな特色としてきた。

2008年度に策定した新基本構想においても「多文化が共生する国際性豊かなキャンパスを実現する」ことを改めてビジョンとして掲げ、学院全体で一層の国際化を推進してきた。

関西学院大学は、2014年度に「スーパーグローバル大学創成支援」事業¹⁹ (SGU) に採択され、日本と海外の学生・教職員が頻繁に行き来する「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』」の構築により、世界を駆け巡り、競い合い支え合って協働できる学生の育成に努めてきた。従来から国内有数だった海外への留学派遣数や、受け入れ留学生数は事業開始から3年間で急速に進展しており、国内の大学の国際化を牽引する役割を担っている。

また、高等部、千里国際高等部も文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」²⁰ (SGH) に指定され、大学との緊密な連携によってグローバルリーダー育成に取り組んできた。初等部、中学部においても個性ある国際プログラムが実施されているほか、千里国際キャンパスにある千里国際高等部・中等部、大阪インターナショナルスクールには35以上の国籍を持つ生徒・教員が集い、両校が英語による授業を共有するなど、特徴ある学びと交流を通して国際的な環境を創り出している。

学院は、総合学園・一貫教育の強みを生かして、創立時からの伝統である「国際性」を、2039年に向かって卓越したレベルにまで進化させるべく、大学・各学校が連携・連動して取り組む。

¹⁹ 「大学改革」と「国際化」を断行し、国際通用性、ひいては国際競争力の強化に取り組む大学の教育環境の整備支援を目的とする文部科学省の補助事業。2014年度から2023年度まで。全国の国公私立大学の中から関西学院大学を含む37大学が採択された。英語の事業名は“Top Global University Project”。

²⁰ 高等学校等において、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付けた、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を図る文部科学省の補助事業。高等部は2014年3月、千里国際高等部は2015年3月に指定された。